

CLARK WE ACADEMY 校でビジネス英語コースを受けてみて

テキストは6～7冊でした。本コースを担当されている先生はフィリピン8人 ネイティブ2人で、全体的に2～3年の経験を積んだ講師たちです。

【ビジネス英語コースの授業構成】

フィリピン講師マンツーマン授業 × 4コマ

フィリピン講師グループ授業 × 1コマ

ネイティブ講師マンツーマン授業 × 2コマ

レベルは Intermediate からが望ましくそれ以下はお勧めしません。

◆フィリピン講師マンツーマン授業：

① Business reading comprehension

私が使用したテキストは Vocabulary の本と同じ(Business Vocabulary in Use)でした。2つのセンテンスの情報を照らし合わせて答えを導き出す形式をとっていました。ビジネスに関連する語彙の本ですので、少々語彙は専門的になってきます。見慣れない語彙はセンテンスを照らし合わせることで予想ができます。ゲーム性があるテキスト構成です。

② Business Listening

社会的なトピックを題材にリスニングの練習をします。トピックは例えば「ミーティングを成功させるにはどうすればいいか」「ミーティング参加者とうまくコミュニケーションをとるにはどうすればいいか」などです。聞いて解いての問題と、語彙にフォーカスをした問題があります。

③ Business Speaking

会社で必ず直面すると思われるシチュエーションを題材にして先生と話す練習をします。テキストにシチュエーション集は入っていますので、それに沿って先生と話します。例えば「会社関係の人に最初に会った際に何をするか、そして何を言うか。」「誰かに会った際に相手のことを知るためにどんな質問をするか。」などです。

④ Business Vocabulary

テキストは Reading の本と同じ(Business Vocabulary in Use)です。同じテキストを併用していました。なので、内容は割愛させていただきます。

◆フィリピン講師グループ授業：

リスニング

通常のコース(ESL)の学生と同じクラスに入ります。一般的なリスニングのクラスです。問題を聞いて、解いていく形式です。

◆ネイティブ講師マンツーマン授業：

① Business conversation

会社などで交渉をする際のシチュエーションで勉強します。テキストにはリスニング、リーディング、ライティングのパートもあります。先生と意見を交換しながら、授業を進めていきます。

② Business writing

テキストには同じ内容のセンテンスの動詞の部分だけ変更する練習や単に動詞だけを補足する問題もあります。他には「動詞」「主語」「目的語」などが書かれたボックスの中から言葉を選んで文章を作成します。